



リスクベーステストの考え方と 品質表現の実際

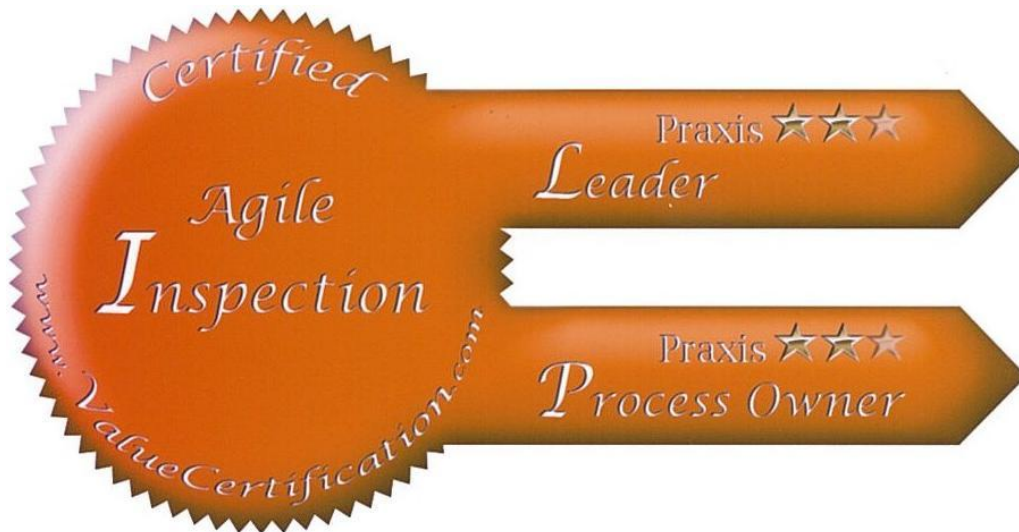
テストでのモニタリングプロセスを中心に
リスクベーステストを考える

永田 敦
ソニー株式会社

自己紹介

- ソニー株式会社 永田 敦
ソフトウェアテストプロセス改善

SQiP研究会 第三分科会 副主査
SQiPシンポジウム運営委員
派生開発推進委員会運営委員



特集

ソフトウェアレビュー、
インスペクションと欠陥予防の現在

6

テストエンジニアが参加する
アジャイルインスペクション

永田 敦 ソニー (株) B2B ソリューションズ 品質戦略部

流れ

考えかた

長い前置き

大切な位置づけ

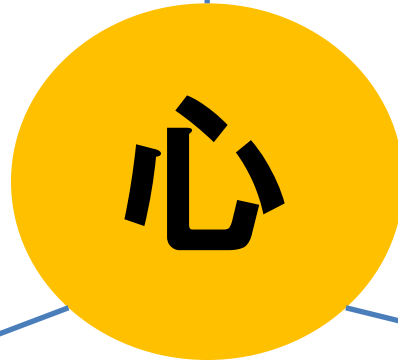
モニタリング

リスクベーステストでのモニタリング

課題／これから

三つの「お」

Honesty



Open

Optimization

Honesty 誠実

全てをテストできない

全てのリスクを洗い出せない

全てのリスクを取り除くことはできない

OPEN オープン

リスクの共有

価値観の共有

リスクへの対策

Optimization

最適化



Adaptive

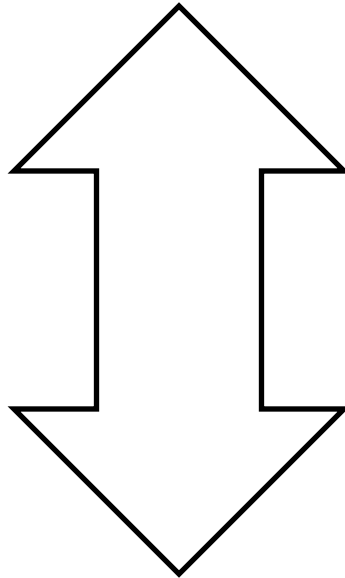
適応性のある



Re-active

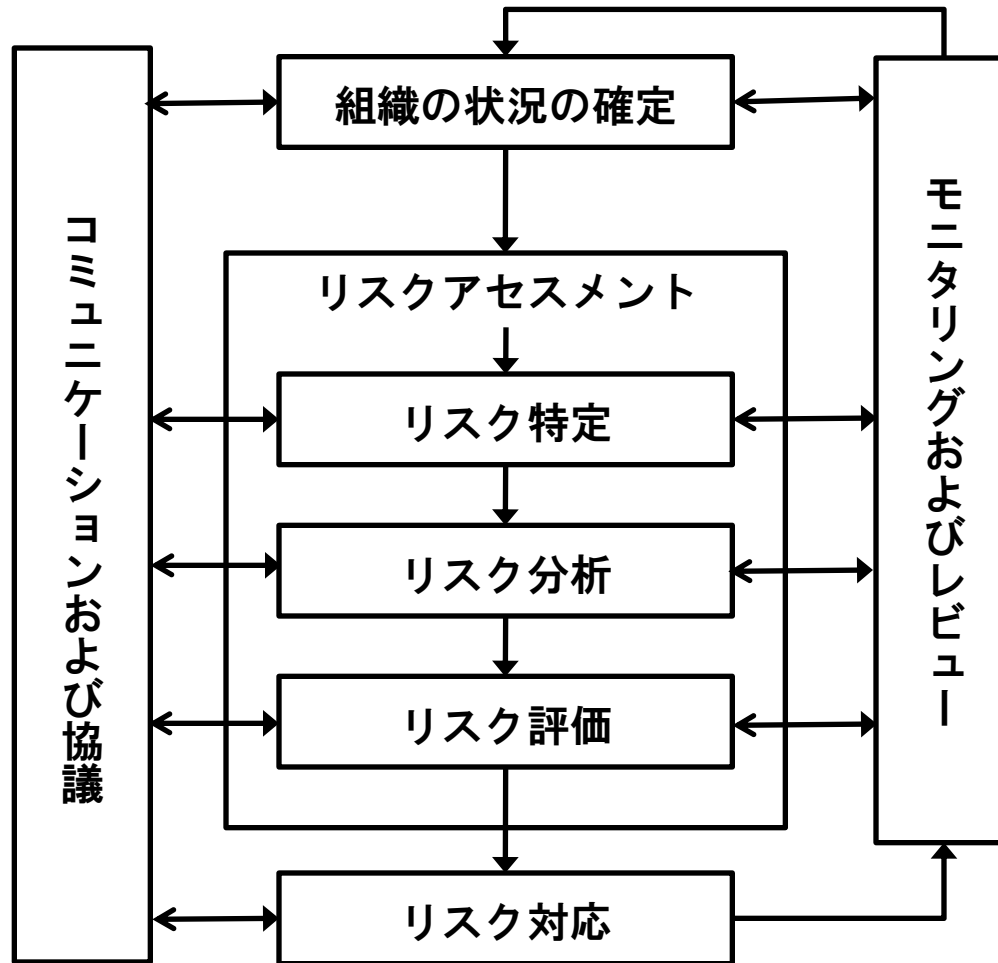
適応性のあるテスト

リスクベーステスト



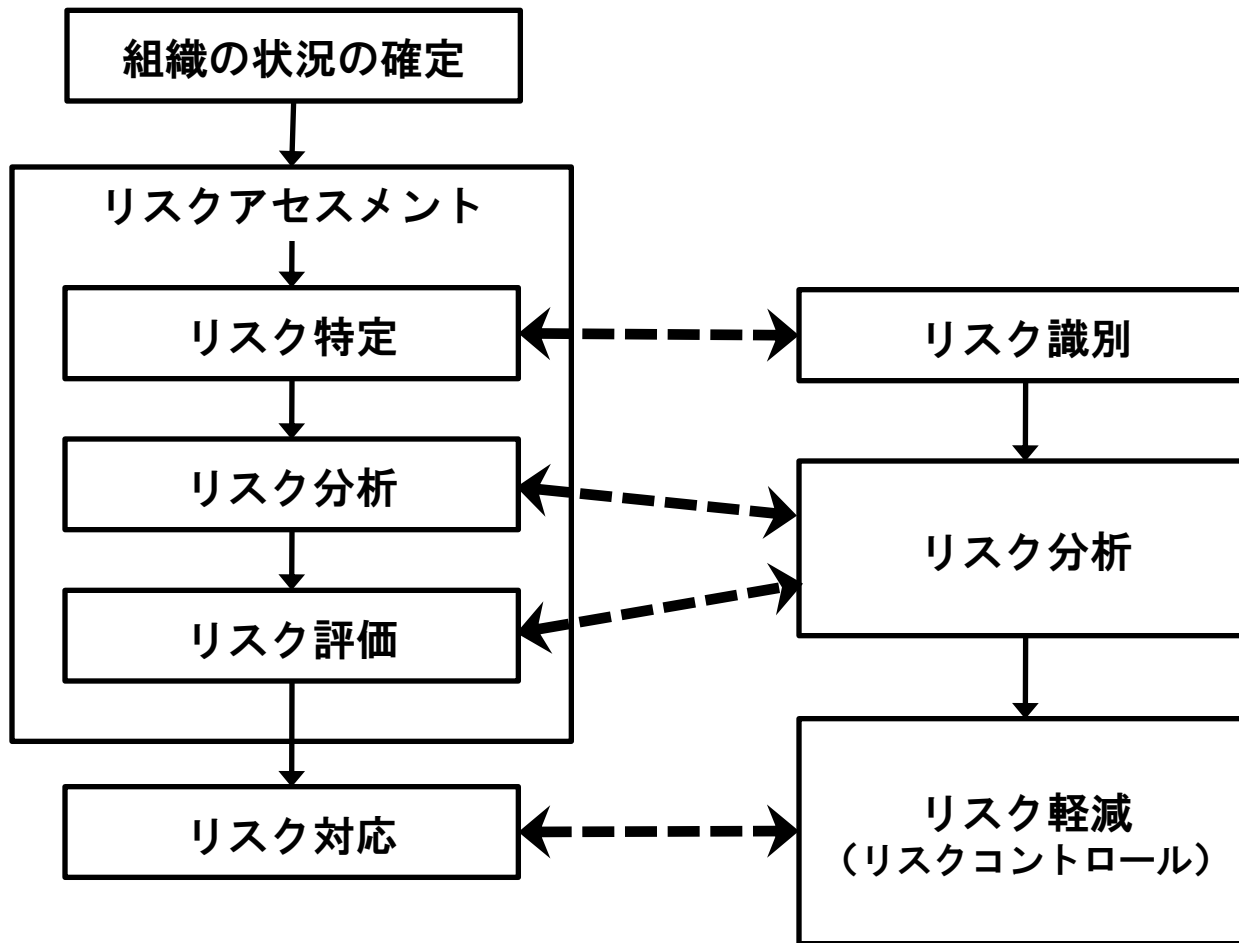
リスクマネージメント

リスクマネジメントのプロセス



JIS Q 31000 : 2010 リスクマネジメント— 原則及び指針

テストにおけるリスクマネジメントのプロセス



JIS Q 31000:2010

JSQTB アドバンスドレベル シラバス

MHK

変化点

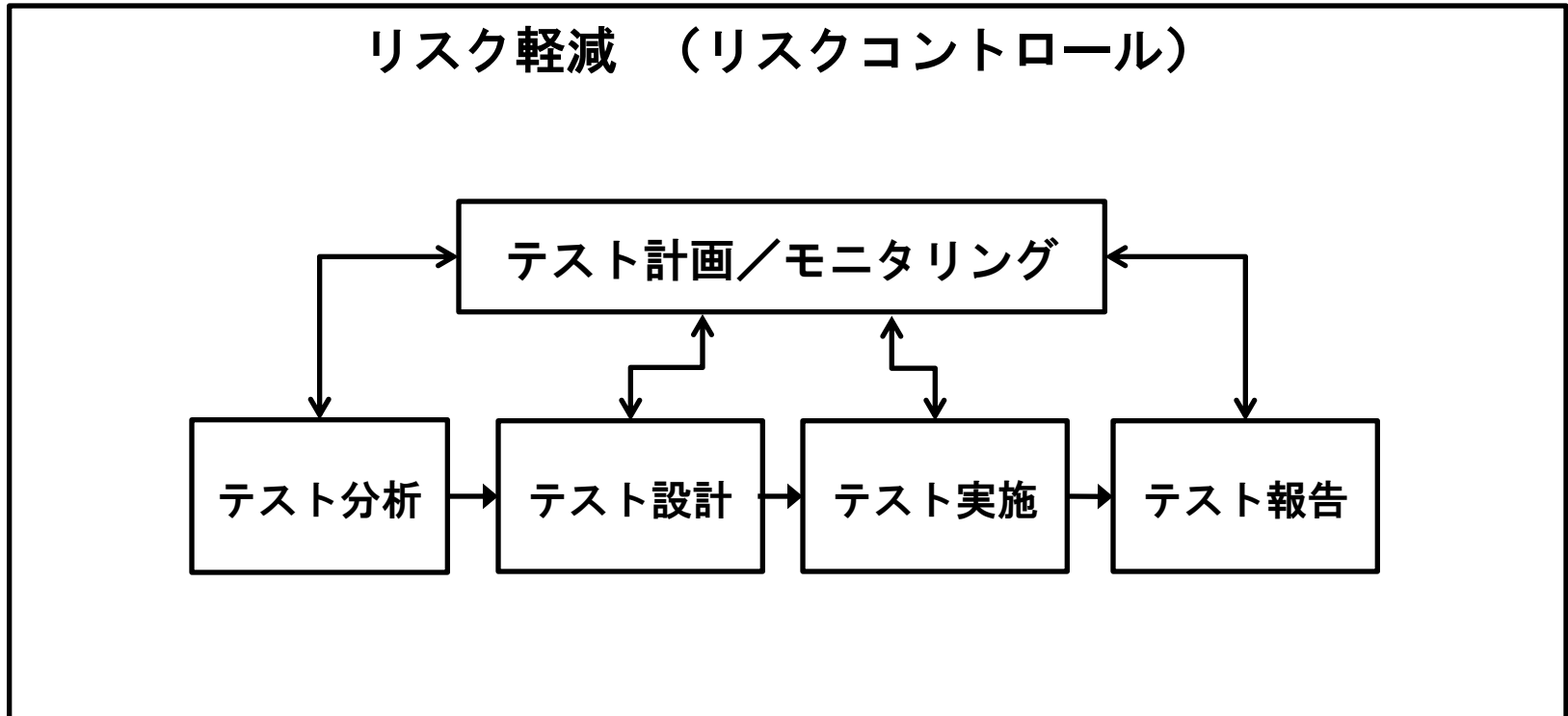


リスク認識

モノの作り

過去のトラブル

リスク軽減とテストプロセス

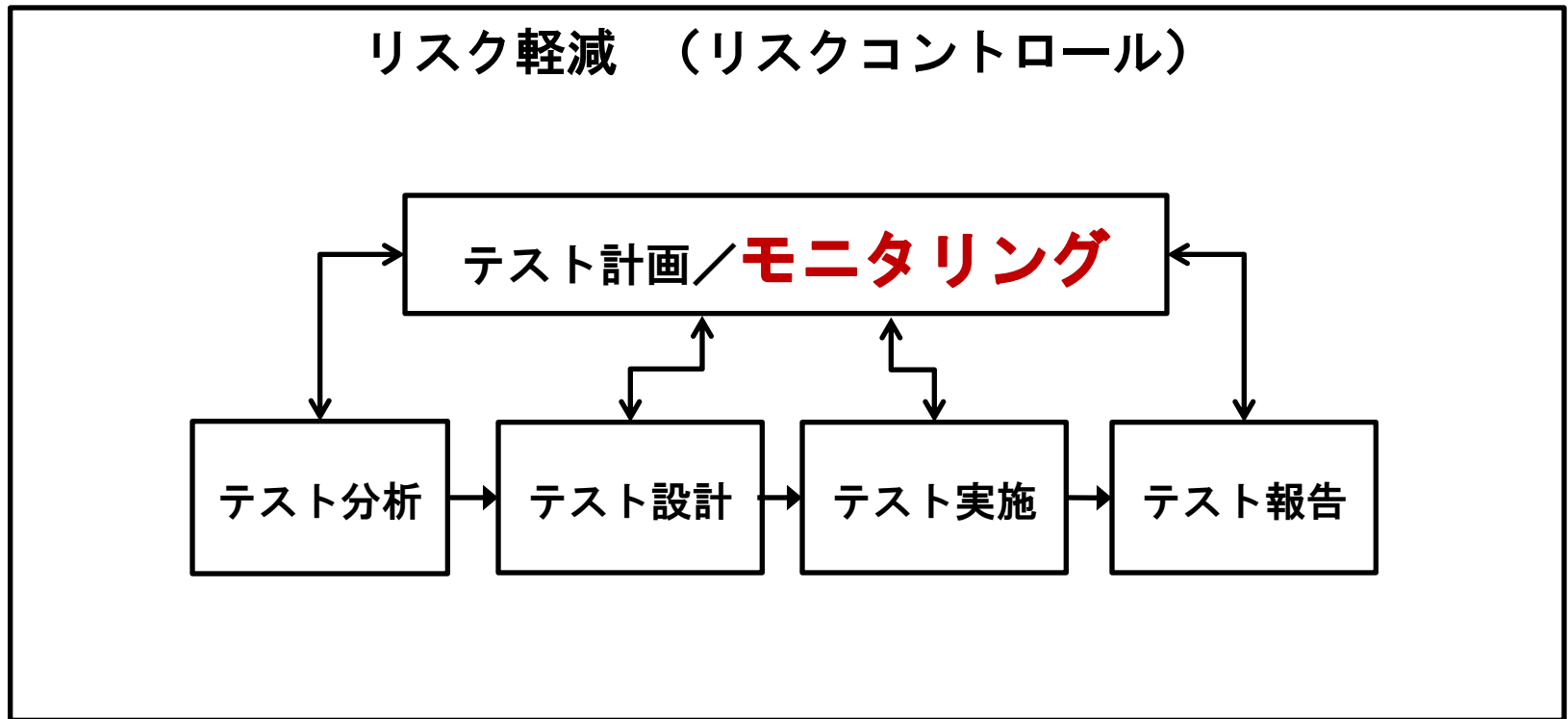


どっちのリスクが高いでしょう

リスク項目	対処	状態	インパクト	頻度	RPN
:	:	:	:	:	:
システム立ち上がりず	もう一度電源を いれたら正常	1000回で1回	4	2	8
:	:	:	:	:	:
システムが立ち上がった 時、データが消えていた	復旧できず	再現せず	5	1	5
:	:	:	:	:	:

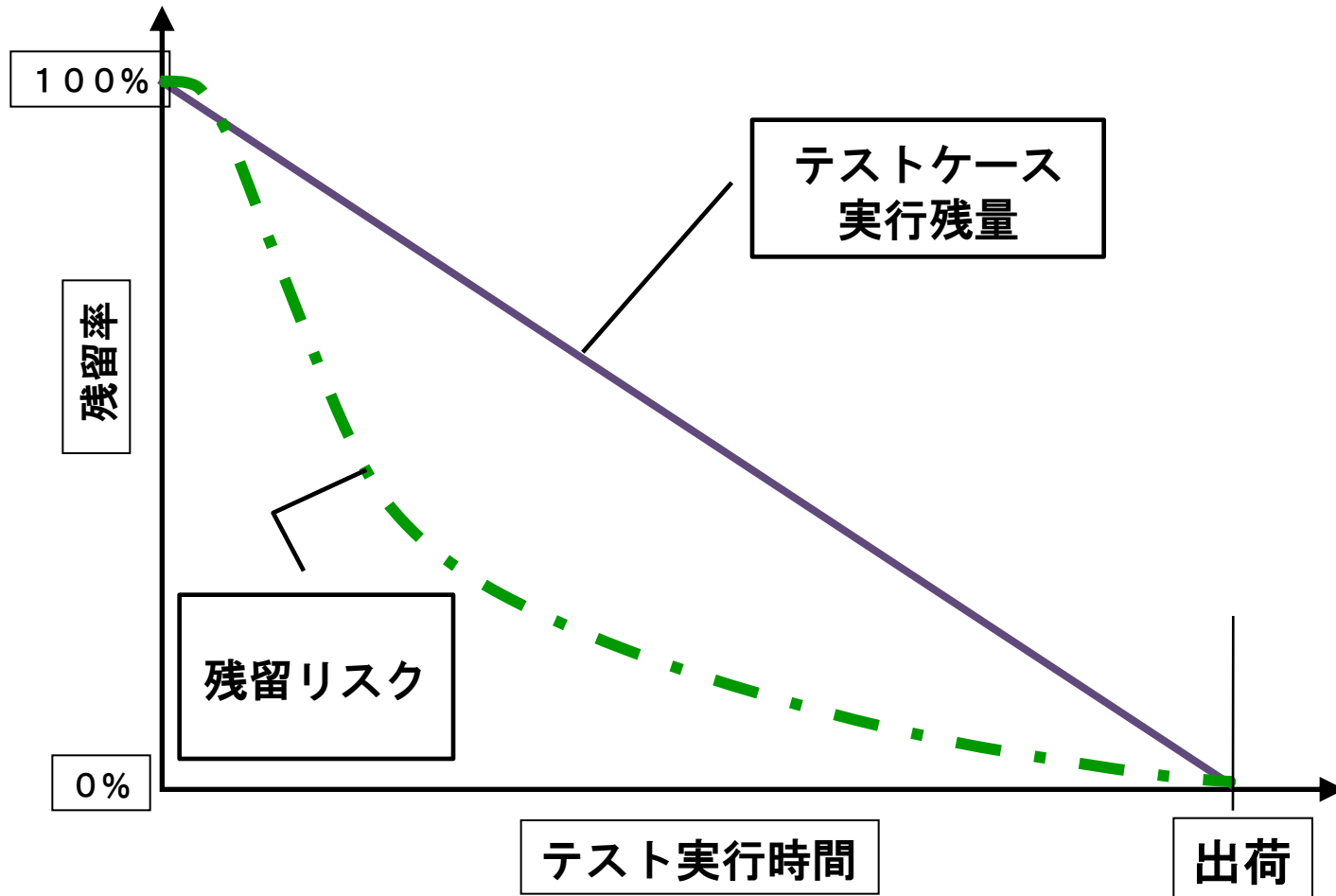
みんな
全てのリスクに責任を
持つ

リスクベーステストのモニタリング

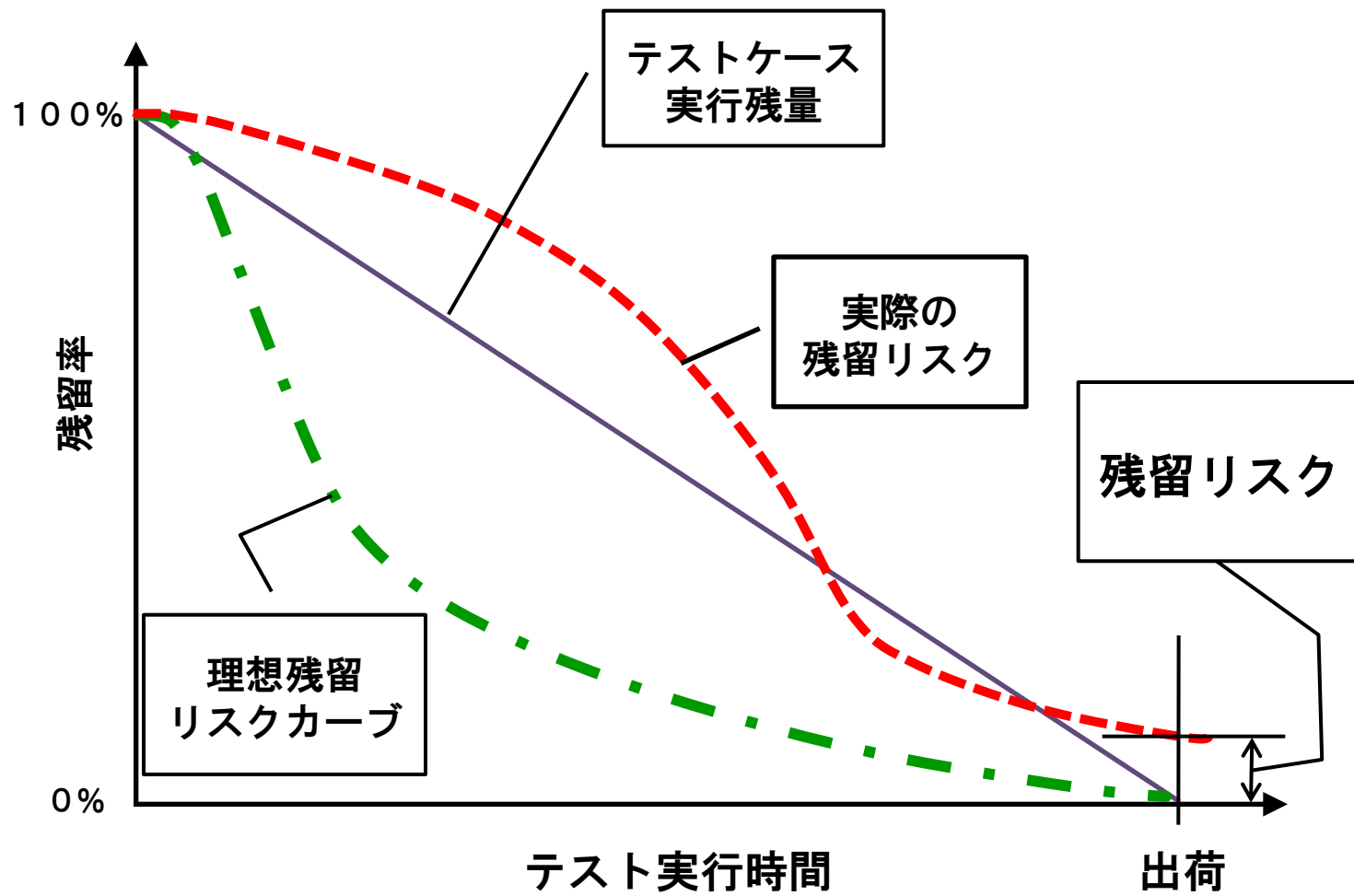


リスクとテスト実行との関係

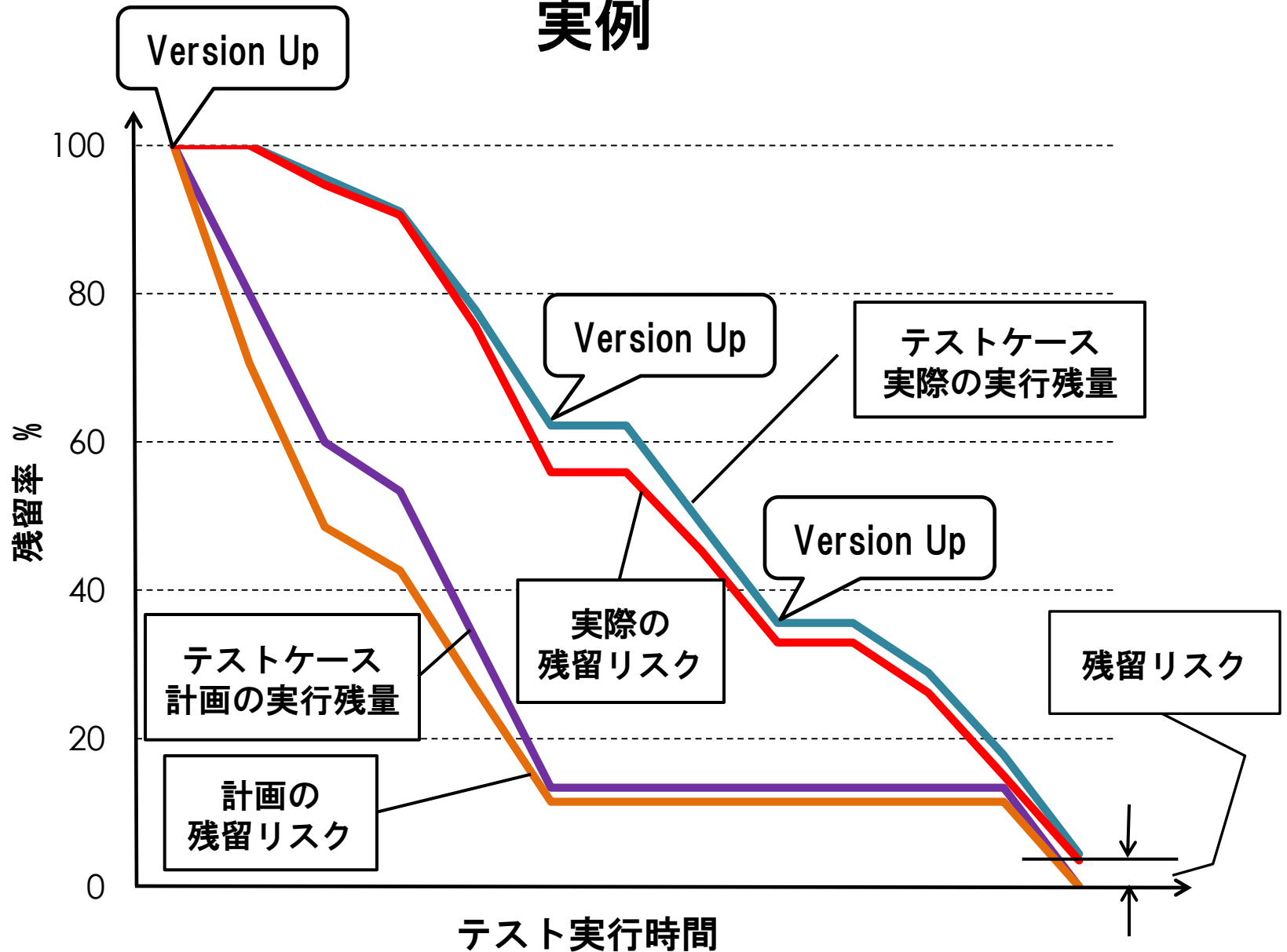
理想的な残留リスクの減少パターン



実際の残留リスクカーブ



実例



リスクベースでよくなったこと

OPEN

コミュニケーション

戦略

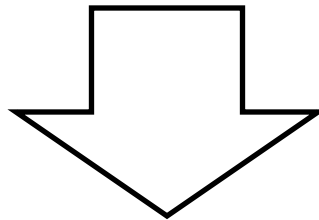
棲み分け

マスターテスト計画

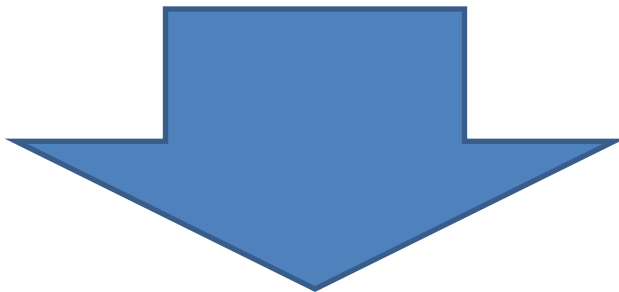
テスト ⇒ パス

リスクはなくなる？

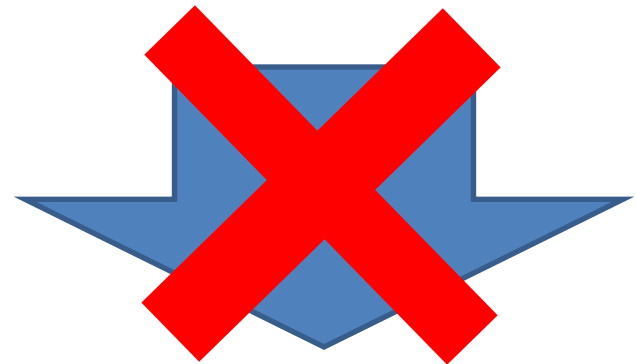
テスト ⇒ パス



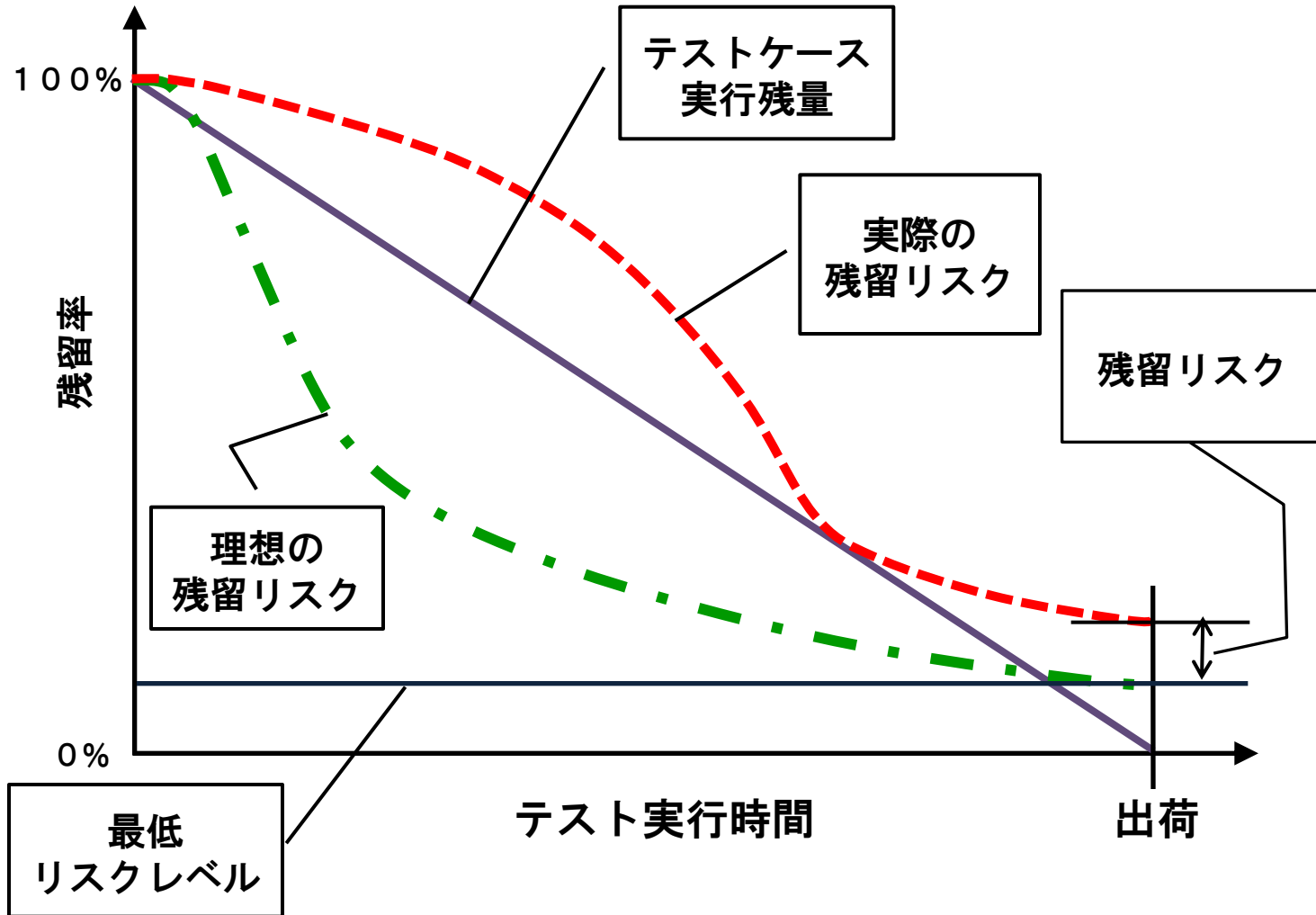
起こりやすさ



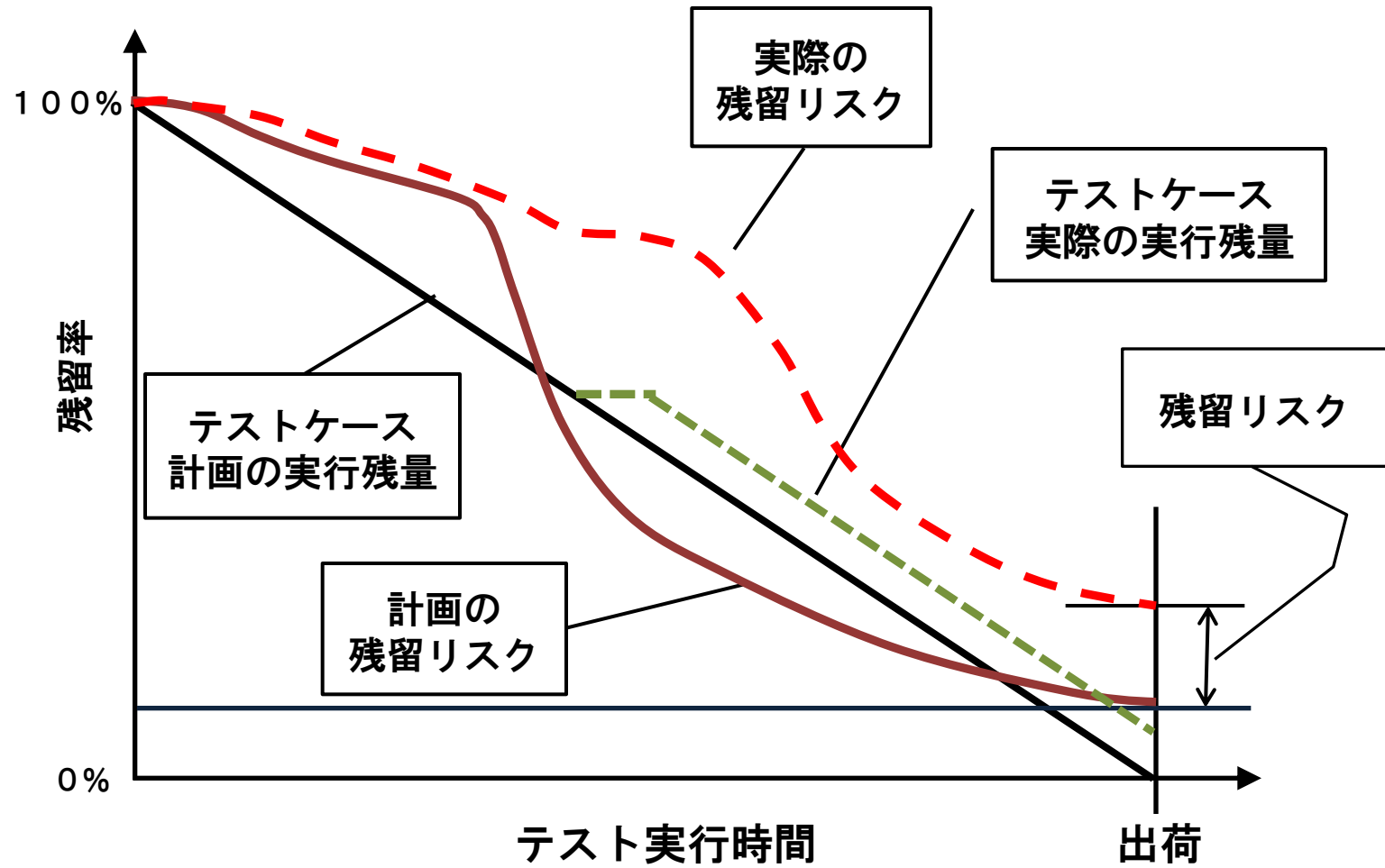
インパクト



実際の残留リスクカーブ: 修正版

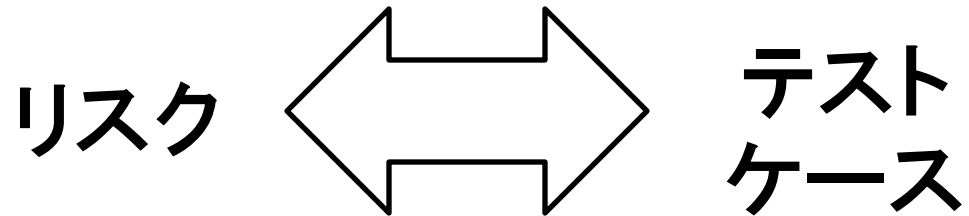


実際の残留リスクカーブ: 修正版 よくあるパターン



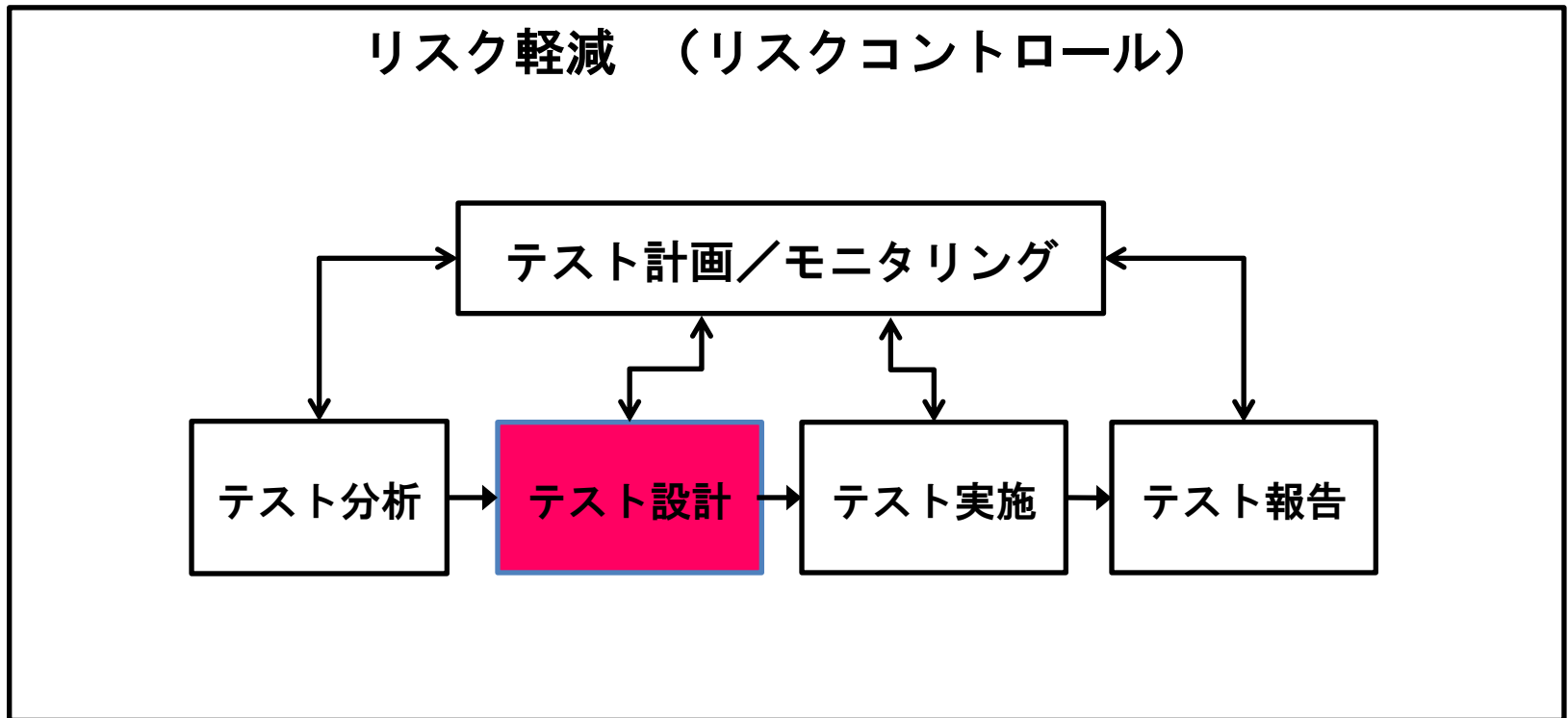
課題

トレーサビリティ



テスト設計

テストプロセス = リスク軽減

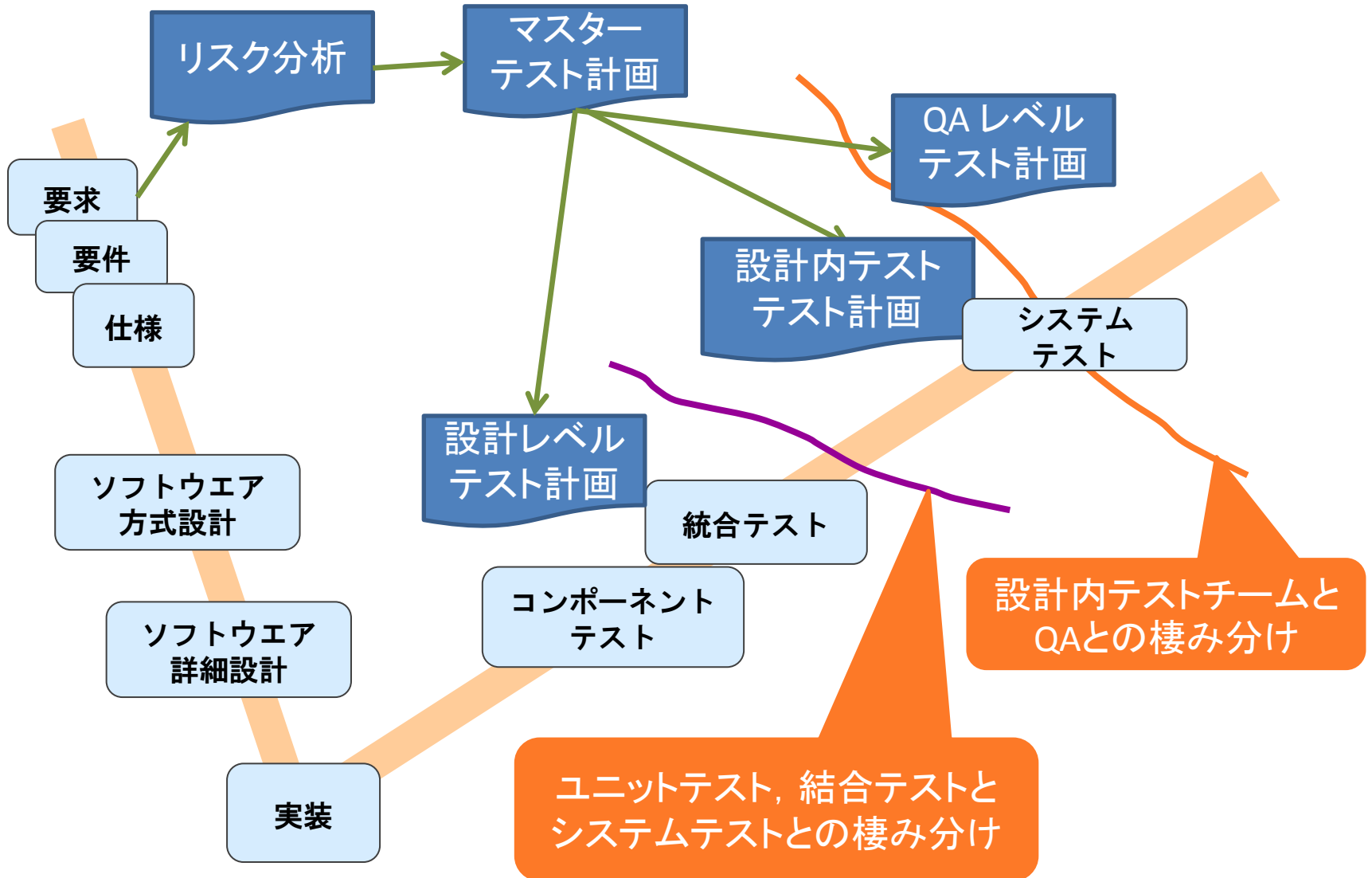


つまり

リスクベーステストを
成熟させるためには

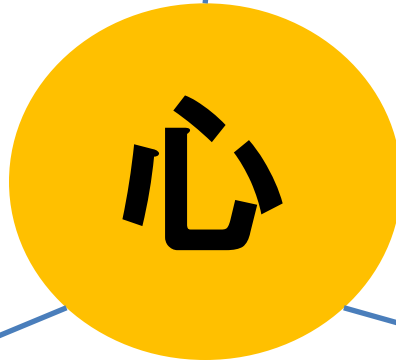
テストプロセスが
成熟しなければならない

マスターテスト計画: リスクの分配



三つの「お」

Honesty



Open

Optimization

ご清聴ありがとうございました